



## 3年生学級活動

今日11日(月)、3年2組で学級活動の提案授業が行われました。今回の授業は、相手の気持ちを考えて声をかけるよさを理解して、よりよい人間関係をつくらうという内容でした。授業の導入のアンケートは、「友達が喜んでいるとき、一緒に喜ぶことができる」逆に「自分が嬉しかったとき友達が一緒に喜んでくれる。」という内容でした。自分はしているつもりでも、相手はしていないということに気づき、そのずれから理由を考えました。また、子供たちにそもそもなぜ、相手の気持ちを考えて、関わった方がいいのかを担当から尋ねると「相手も嫌だし、自分も嫌な気持ちになるから」「『学級目標の仲良く』に近付くため」と子供たちがこたえ、学級目標を意識した学びになっていることを実感することができました。

また、担任が映像で関わり方の映像を2本観て、その違いに気づき、共感的に関わるポイントに気づいていきました。そのポイントを生かして、実際にいくつかの場面をどう関わっていくのか班別に解決方法を話し合っ、実際にロールプレイとしてやってみました。

場面は4つ準備しており、「試合でサッカーのシュートを決めた」「縄跳びで初めて二重跳びができた」「漢字のテストで百点が取れた」「好きなペットを飼うことができた」などの場面で友達にどういう声掛けを行うかを班ごとに考え、実際に役割演技でやってもらうという内容です。そして、今後自分がやっていきたいことをめあてとして設定し、具体的な行動目標としました。

一人一人が、めあてに向かって行動することで、学級目標に近付き、さらには学校目標の実現にも近付くと思います。3年2組の皆さんのこれからの行動に期待しています!今回は、共感することについて子供たちと共に学びましたが、共感することで、相手から「この人だったらわかってくれる」「この人だったら信頼できる」と感じてもらうことに繋がります。そういう関係が学級の中で築けたら、充実した日常生活がおくれるような気がします。

今回の学級会について、子供たちが帰った後に、全職員で授業研究会を行い、「このような学びのプログラムは、いつの時期におこなうべきか」「効果的な動画の活用の仕方はどうすべきか」など、職員一人一人が授業への疑問を出し合ったり、改善点を述べ合ったりし、明日からの自分自身の授業づくりに活かすことができました。これからも全職員で、子供たちの子供たちによる子供たちのための学級・学校創りを考えていこうと思います。

